



# 緑風会報

Vol. 2

## 明海大学大学院不動産学研究所

### 修士課程設置

4月1日よりスタート



明海大学は、昨年12月に大学院応用言語学、経済学、不動産学の3研究科の増設が認可されました。これにより、日本で唯一の「不動産学研究所」が、本年4月より開設されたことは、我々不動産学部卒業生にとっても大変喜ばしいことであります。

不動産学とは、快適な都市環境を創るための学問であり、その研究対象は、私たちの生活環境すべてと云ってよいほどに幅広いものです。なぜなら土地や建物、緑等が集まり、街は形成され、都市は発展していきま

は、1992年に本学に不動産学部が設置されたのが最初であります。土地や住宅、都市問題等の課題が山積みされている日本。不動産学研究所はこれらの問題に対し、具体的な提言ができる人材の養成を目的とした、日本で初めて体系的に不動産学を学べる大学院です。

カリキュラム編成においては、社会人が働きながら通えるように、昼夜開講制を採用しています。講義は、月・金曜日の14時40分〜19時30分、土曜日の13時〜17時50分の開講予定です。また、研究指導を受けるための特別演習については、大学院担当教員と大学院生の話し合いで開講時間帯を決めるなどフレキシブルな教育体制で個々の社会人の勉強事情に対応しています。

なお、今年度の入試結果は、A日程は、志願者数22名(内本学在学学生10名)、合格者14名(内本学卒業生6名)、B日程は、志願者数14名(内本学卒業生4名)、合格者数6名(内本学卒業生1名)でした。

#### 資料請求先

明海大学インフォメーションセンター  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2  
TEL: 03-33375195 83

#### 大学院設置に寄せて

不動産学部長 小泉允園教授  
不動産学研究所長 小泉允園教授



産学部も今年で早7年目を迎え、この間、完全セメスター制による新カリキュラムの導入等、学部教育の見直し改善に意を注ぐ一方、わが国初の大学院の設置に向け準備をまいりました。

その結果、昨年12月に文部省から正式な認可を受け、この4月から大学院不動産学研究所(修士課程)をスタートさせること

ができ、名実共に不動産学が社会的に認知されたわけですから、本研究所は、学部教育と同様に「土地・建物と人間の関わり」という視点から、従来の学問分野を学際的に再構築し、総合学問として、更には不動産を適切に取り扱う実践的な学問として、その体系化を目指すもので、「基礎」、「情報・市場」、「経営・管理」、「計画・政策」の4つの専門領域を柱に、高度な専門家を育成するものです。講義、演習等は4〜7時間目に設定しているため、学部4年生は無難なこと、実社会で活躍しておられる学部卒業生の皆様の積極的なチャレンジを期待しております。

#### 不動産学専攻教育課程

専門分野	授業科目	担当教員
基礎	経済理論特論	兼任講師 新藤田 安
	計量理論特論	兼任講師 伊東 洋三
	不動産法特論	教授 遠藤 厚之助
礎	不動産公法特論	兼任講師 木村 寛
	土地経済特論	教授 高山 隆三
	建築計画特論	教授 井上 敏
情報・市場	基礎施設特論	助教授 外尾 一則
	環境法特論	助教授 柳 重一郎
	不動産評価特論	教授 武田 公夫
情報・市場	情報決定分析特論	教授 林 泰夫
	地域資源特論	教授 森 順夫
	不動産市場分析特論	教授 伊豆 宏
経営・管理	環境情報特論	助教授 川口 有一郎
	不動産金融特論	教授 片岡 隆
	都市経営特論	教授 小泉 允園
経営・管理	経営制度特論	教授 藤原 将二
	不動産会計特論	教授 伊藤 文夫
	資産経済特論	助教授 前川 俊一
計画・政策	不動産管理特論	兼任講師 石塚 真実
	コミュニティ分析特論	助教授 齊藤 広子
	財産管理法特論	兼 定 泰
計画・政策	開発経済特論	教授 馬場 孝一
	都市計画特論	教授 阪本 一郎
	開発行政特論	教授 三本木 健治
計画・政策	土地政策特論	教授 豊谷川 慶之輔
	財政政策特論	兼任講師 田中 一行
	住宅政策特論	教授 松本 光平
共通	不動産法制特論	教授 坂本 洋之助
	特別演習 I, II, III, IV	各演習担当教員

初の9月学位記授与式行われる

9月30日、浦安キャンパス4301大会議室で1997年度9月学位記授与式が行われた。対象となる卒業生は35名。不動産学科の細田新子さんが、卒業生を代表して大東学長から学位記を授与された。



学位記を授与される細田新子さん

セメスター制の導入及び9月期卒業について

不動産学部 阪本 一郎教授

日本で初めて設立された不動産学部は、先例のない意欲的なカリキュラムを持つて平成4年にスタートしたが、その後4年間の教育現場での経験の積み重ねと、新たな社会的要請を受けて、平成8年以降の入学には新しいカリキュラムを提示することになった。まず、授業を半年の学期毎に完結させて学習内容の精選と集中的な学習を計る主旨のセメスター制を導入した。これは、多くの授業科目を4単位から2単位に変更することで提供科目数も54から97科目に増加し、不動産学の多様性に対応するものとなった。また、法学、経済学、工学など各分野の基

1997年度卒業生巣立つ

1997年度学位記授与式



卒業生に向けて壇上で告辞を述べる大東学長。右から2人目が宮田理事長。

礎的科目計48単位をコアとして位置づけ、不動産学部生が共有する基礎学力の明確化及び強化を図った。さらに、測量士補の資格をセットにしたコースを設けたり、1年生のゼミを創設するなど、新カリキュラムには多くの新しい要素が盛り込まれている。一方、4年生の留年者で卒業単位を満たした学生には、9月に卒業する機会も選択できるようにしたいとの主旨で、大学の体制のとのつた平成9年度より9月卒業が実現した。卒業生は全学部で35名であったが、セメスター制導入を専攻していた不動産学部生がその半数以上をしめることになった。これら以外の多くの面でも不動産学部は教育改革に取り組んでおり、わが国の不動産学教育のトップランナーとして、これからの時代に相応しい優れた教育を実現したカリキュラムを進化させていくつもりであり、卒業生諸君にも注目していただきたいと考えている。

卒業生の内訳									
学部	部	学科	人数	学部	部	学科	人数		
外	一・二	日本語	97	不	一・二	不動産	339		
	一・二	英米語	231		商	135			
	一・二	中国語	74		院	7			
経	一・二	経済	566	別	別	日本語課程	33		
卒業生人数				1,482人	累積卒業生数				11,318人



記念写真を撮る卒業生たち

だ基礎の上に必要なる技能や技術を積み上げ、磨いてほしい」との言葉が贈られた。

3月23日、浦安キャンパス体育館で1997年度学位記授与式が行われ、学部、大学院、別科合わせて1,482人が、学位記及び終了証書を授与された。

不動産学部の総代は、渡辺健人君、宮田賞は、宋 杰君、古瀬一弘君、平松健太郎君が受賞いたしました。大東百合子学長の告辞では、「卒業は人生の節目ではあるが、学問の終わりではない。社会や科学は日々進化している。大学で学ん

1997年度卒業生の就職先 (抜粋 順不同)

建設  
大和ハウス工業/積水ハウス/木下工務店/ミサワホーム/工藤建設/三和ホーム/大倉建設/中央住宅/パナホーム/北関東/秀建/ウスイホーム/ダイヤ建設/トヨタホーム/東京/ナショナル住宅(名古屋)/三和建物/太平洋住宅/大成建設/ハウジング

不動産業  
住友不動産販売/日本総合地所/青山メイトランド/明和地所/エイブル不動産/ダイア建設/ちばりハウス/ロイヤルハウジング/スターツ/西コーポレーション/ハウジング興産/ハウスメイト管理/積栄エステート/東日本住宅/アービック住宅販売/大京/ミサワホーム/伊藤忠ハウジング/共同施設/三井のリハウス

不動産関連・その他  
アクティオ/ダイナム/サンドラック/スポーツフレンド/医療法人市川クリニック/住宅都市整備公団/森嶋鑑定事務所/東京ベイ第一リゾート

運輸・通信・サービス  
佐川急便/新井商事/日本電子通信/西/ジョイフル本田/イーストポイント/さが美/ユニシステム/大和システムエンジニアリング/レストラン森永

卸売・小売業  
トヨタカローラ/トヨタビスタ/トヨタオート/ナイスタラップ/ビュア/丸善松浦商事/サトウムセン/東京東三泰自動車販売/日産ディーゼル東京販売/日本管財センター

金融業  
第一勧業銀行/住宅金融公庫/東海銀行/江戸川信用金庫/埼玉信用金庫/山積証券/静岡東海証券/千代田生命保険

大学院進学  
明海大学不動産学研究科

明海大学浦安キャンパス同窓会緑風会  
事業報告及び計画、決算及び予算

平成9年度第2期年間事業報告(案)

- 1 理事会の開催
- 第3回緑風会理事会が5月18日(日)、大学内において開催され、平成9年度事業計画が承認された。
- 2 評議員会の開催
- 第1回評議員会が5月18日(日)、大学内において開催された。
- 3 総会の開催
- 第1回緑風会総会が5月18日(日)、大学内レストランニューマリンスにおいて開催された。出席者約40名であった。
- 4 懇親会の開催
- 第1回懇親会が5月18日(日)、大学内レストランニューマリンスにおいて開催された。
- 5 会員データベース作成完了
- 6月より準備していた1997年度、1997年度卒業生の会員データベースが、およそ6ヶ月掛かり完了する。毎年、卒業生が出る毎にデータを追加していく。
- 6 会報発行
- 平成9年12月1日付けで第一号発行。

- 7 臨時理事会
- 臨時理事会が3月8日(日)開催された。この中で、平成10年度の年間事業・予算、会則の改正について審議がされた。
- 8 会報発行
- 平成10年4月1日付けで、会報第二号発行。

平成9年度第2期決算(案) (単位:円)

収入の部

科目	本年度配分額
支部運営費	2,500,000
計	2,500,000

支出の部

科目	本年度配分額	本年度決算額	差引額
支部運営費	2,500,000	2,511,922	▲11,922
(支出内訳)			
会報発行費	198,045		印刷・編集費
事務整備費	981,745		パソコン、収納庫代他
通信費	219,605		切手、封筒代他
総会・懇親会費	566,790		食事代、室料他
事務管理費	77,817		事務用品等
各種式典費	-		
外注委託費	467,920		データ入力他
小計	2,511,922		
計	2,500,000	2,511,922	▲11,922

(単位:円)

平成10年度第3期予算(案)	
会報発行費	1800部 220,000
事務整備費	200,000
通信費	200,000
各種式典費用	100,000
総会・懇親会費	700,000
事務管理費	200,000
交通費(新設)	400,000
業務委託費(新設)	600,000
総計	2,620,000

- 1 評議員会の開催(5月)
- 2 総会の開催(5月)
- 3 懇親会の開催(5月)
- 4 会員名簿の管理
- 5 ホームページの開設・インターネットの立ち上げ準備
- 6 会報の発行(4月)
- 7 卒業記念品の贈呈(3月)

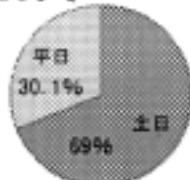
平成10年度第3期年間事業計画(案)

平成10年度緑風会役員及び評議員(案)

役員 ※役員は理事を兼任する

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 代表           | 伊藤 憲 (留任)   |
| 副代表          | 佐藤 仁思 (留任)  |
| 事務担当         | 永松 忍 (現評議員) |
| 監査担当         | 越川 安奈 (留任)  |
|              | 渡辺 孝之 (留任)  |
| 会計担当         | 種村 友紀子 (留任) |
| 理事(役員候補者を除く) |             |
| 本間 勝         | 丸島 浩二 谷口 竜介 |
| 吉池 豪         | 砂川 大輔       |
| 第3期評議員立候補者   |             |
| 岩切 秀仁        | 田村 真澄 中川 卓  |

開催日について



開催場所について



総会についてのアンケートの結果報告

アンケートのご協力、ありがとうございました。結果を次のようにお知らせいたします。

## 規約の改正について

### 主な改正点

#### 第3章 役員

第7条 本会に次の役員を置く。

(1) 代表 1名

(2) 副代表 1名

(3) 事務担当 1名

(4) 監査担当 2名

(5) 会計担当 1名

第7条の1 本会の理事は、正会員より立候補の上、評議員会で承認されることによりおく。

2. 理事は、本会理事会の構成員として、本会の意思決定における事業策定及び検討を行う。

第7条の2 本会の評議員は、各卒業年次より会員100名に1名の割合を限度として、選出する。評議員の選出にあたっては、理事会の承認を得ることとする。

2. 評議員は同一卒業年の会員を代表するもので、評議員会の構成員となり、本会運営事業の審議にあたるものとする。

第8条 代表、副代表、事務担当、監査担当及び会計担当は、理事会において、理事の中から互選により選出する。

#### 第4章 会 議

第13条 評議員会は代表、副代表、事務担当、監査担当、会計担当、評議員で構成し、本会の最高議決機関として、毎年1回、総会に先んじて開催するものとする。

第14条2. (5) に関しては、評議員の過半数の同意があるとき、変更すること

ができる。また、会則を改廃した場合は、総会に報告し、その承認を得るものとする。

#### 第7章 慶 弔(新設)

第1条 会員に特別な慶弔事項があった場合は、理事会に諮り、その慶弔について決めることができる。

(2) 詳細については明海大学浦安キャンパス同窓会会則の慶弔規定に従う。

明海大学浦安キャンパス同窓会緑風会 旅費・宿泊に関する申し合わせ事項

第一項 理事が会議に出席する為に必要とみなされる経費について、下記のように定める。

(1) 日当

理事会・評議員会・総会の出席：1日につき9,000円

(2) 宿泊費

・ 開催地より居住地が200キロ以上離れている者 開催日1日につき1泊15,000円一律支給

・ 上記の条件の者が会議の日程により、当日帰宅困難と代表及び事務担当が認められた場合1泊分15,000円を支給

(3) 交通費

・ 公共交通機関を利用し、時間が最短の経路を基準とした費用を支給する。但し、実際の費用が事務局算定より高い場合、代表及び事務担当が妥当と認めた場合は、実費を支給する。

・ 特急並びに新幹線利用のときは、指定席を基準とする。

部分が変更、追加のあった箇所です。

## 事務局より

平成9年度の事業計画も予定通り終了し、運営が以前よりも円滑になってきたように感じられます。

現在、事務局内や理事会では、個人情報保護の扱いが問題となっております。ここ数年、情報化の波に伴い個人情報流出問題が社会的に騒がれており、同窓会名簿は流出原因の代表的な例の一つとされています。同窓会という性質上、会員が何の職業に就かれ、どこにお住まいであるのかという情報は、在学生の就職活動の大きな情報源であり、同窓会の存在理由の一つでもあります。大学の発展のためにも卒業生が出来ることの一つではないかと思えます。但し、その情報が悪用され、会員に迷惑をかけることは当会の本意ではなく、事務局としても頭を抱える問題です。新しい大学の利点が生かせるような運営を心がけることが現在の当会事務局の課題ではないかと痛感しております。

(事務局長 本間)

## 事務採用

平成9年度の事業計画に基づき、緑風会事務局の事務職員の採用を行いました。業務は基本的に週2日(火・木曜)、9時～15時に行っております。昨年、深谷彰子さんを採用いたしました。また、情報処理を佐久間祐子さんに委託しております。お二人とも、意欲的に職務に従事して頂き、当会にとっては非常に心強く、今後もお世話頂きたく思っております。

(事務局長 本間)



明海大学教授  
東北農科大学名誉教授  
(財)21世紀福寿財団 会長

## 訃報

本学に多大なる功績を残された、不動産学部 人見康子教授(享年70歳)が、2月1日(月)午前7時23分、ご逝去されました。葬儀は身内のみの密葬にて執り行われ、友人・知人による「お別れ会」は、3月24日(火)、ホテル・フロラシオン青山にて行われました。ここに謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 住所変更はご連絡を

会員の方の住所が変わりましたら、是非ご一報下さいませようお願いいたします。總會のお知らせに同封する返信ハガキは、随時受け付けておりますので、ご利用ください。尚、事務局より電話を通じて、会員の住所や電話番号等を聞くことはありません。当会の名前を使った悪質な業者がいます。十分にお気を付け下さい。



緑風会会報第二号  
編集・発行 明海大学浦安キャンパス  
発行責任者 本間 勝 同窓会緑風会  
印刷 弘文社  
平成10年4月1日発行